

平成 24 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	現代文明の基層としての古代西アジア文明 —文明の衝突論を克服するために—
領域代表者	常木 晃（筑波大学・人文社会科学研究科（系）・教授）
研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
科学研究費補助 金審査部会にお ける所見	<p>本研究領域は、西アジア文明の先進性と普遍性に着目し、それをもたらした要件の解明を通して西アジア文明学を構築することを目的とする意欲的な研究提案である。人文科学系と自然科学系の多様なテーマが設定されており、既存の学問分野の枠を超えた共同研究によって新たな研究の展開が期待される。アジアの中の日本において、西アジア地域の総合的研究拠点形成が推進されることは、国際的にも望ましい。また、研究組織は総括班と 13 の計画研究から構成されるが、参画する研究者の多くはすでに共同プロジェクトを行なっていることから、有機的な運営が可能であると評価できる。一方で、古代西アジア文明研究と、現代の「文明の衝突論」は、直接につながるものではないため、古代から現代にいたるまでの連続性と変化についての視野を構築することに留意する必要がある。</p>